
異世界を渡る男の娘

大雅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

「」のPDFファイルは「小説家になろう」「」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」「および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

異世界を渡る男の娘

【Zコード】

Z2131Y

【作者名】

大雅

【あらすじ】

テンプレの「」とく転生して原作に入りしてみよ」と考へてゐる男の娘
まずは天地無用の世界へ
一応えつちとキーワードに入れましたがそなうかは分かりません

プロローグ

今、俺は真っ白な空間に胡坐をかきながら座っている。

「どうだ口…？」

んー・・・とコメカミを叩きながら記憶を思い出そうとしていたら
後ろから声が聞こえてきた

「あのースイマセン?」

振り向くと其処には、女性と幼女が立っていた。

「あつ、やつと気付いてくれましたね。私はヤハウエ、神などをし
ています。」

ヤハウエと名乗った女性が急に自己紹介を始めたのを聞きながら、
なぬ・・・神?とか考えていたら

「この子はイリス、生まれたばかりなので感情があまり出てないけ
どよろしくね?」

「ヨロシクネ?」

と見た目4~5歳の幼女の方も、自己紹介を続けていく。

「あのー・・・話が急すぎて、頭がついていかないんですけど。口
コ何處です?」

真っ白い空間で気が付く 急に後ろから話しかけられる 慢に自己
紹介が始まる

普通にこんなことが起きたら頭が付いてこないと思つ。

「ああ、そうですよね? まずはどこから言えばいいかしら?」

「イイノカシラ?」

などと言いながら神様? (血口弔告のみ) とイリスちゃんが首を傾
げる。

そして、イリスちゃんの背中を押し俺の前に出させると

「実は、この子に仕事を教えようと思つて連れて来たら、あなたの
寿命の書類に落書きしちゃって
あなた死んでしまったのよ」

「『メンナサイ』

実際にサワシと衝撃の事実を語りヤハウさんと謝るイリスちゃん

なんか、よく読むひうなどにあつたうなテンプレ展開に行きたうな雲行きになつてゐなあと考へていたら

「こじうのも酷なんだけど、今回のことであなたは輪廻の輪から外れてしまつてどうしようかなと思つてゐるよね」

「そつなんですか？」とこうでイリスちゃん、ちよつとおこど？、「言こながら手招きしてみる

「？」

トテトテと歩こひきたところを持ち上げ、胡坐の上に座りせ後ろから抱きしめあごを頭の上に置く思つていたよりも抱き心地がよく、イリスちゃんの方も嫌がるそぶりも見せないビンタか
背中を預けウトウトとし始めている。

その後もヤハウさんと今後どうするかとか話してゐたり、何となくこじう転生モノのひうなどを読んだと語り話になつたところでヤハウさんが

「それ、こいかも？」

と言ひ出しうんづれよろしく願い事3個までなり叶えるよ？とのこと
「それじゃ、一つは色々な世界（特に漫画とかの世界）を見てみたいから注意で世界を渡るようになります？」

「んーできるみたいよ？」とヤハウさん

できるみたい？って誰に聞いたの？とか思いながらも

「一つは、情報をえあればどんなこともやれる様になる【学習能
力】とかできる？」

「んーできますね」と軽く言つてくる

「三つ目は、アカシックレコードを覗けるひとつとして」

「アカシックレコードですか……ひとつ待つてくださいね

と、何処かに確認をとる様な感じで

虚空を見つめて、そして「〇〇だそりです」と一言
やっぱ誰かに聞いてるなとか思いながら、胡坐の上ではイリスちゃんがスヤスヤと寝てたりする。

その後も少し能力のことを話しながら、世界の渡り方・アカシックレコードへの繋ぎ方などのやり方を教わる

そしてこの場所は、世界とは隔絶された場所らしく最初はヤハウェさんが送ってくれるとのこと

それならばと「最初は天地無用の世界に行きたい」と言つたら「わかりましたあ～」と

真下に黒い穴・・・・

俺は・・・・イリスちゃんと落っこちました！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2131y/>

異世界を渡る男の娘

2011年11月4日17時13分発行